

令和3年度第1回印西市総合計画審議会 会議録

- 1 開催日時 令和3年7月27日（火）午前10時00分～午前11時00分
- 2 開催場所 印西市役所3階 大会議室
- 3 出席者 吉村彰 会長、篠田道雄 委員、柴崎達夫 委員、野々村浩明 委員、
武田好子 委員、海老原稔 委員、青柳和江 委員、菊地謙治 委員、
青木和浩 委員、熊谷公 委員、森山崇 委員、大竹たまい 委員、
小林正一 委員
- 4 欠席者 竹谷賢治 委員、竹内仁 委員
- 5 事務局 企画政策課：高平課長、酒井課長補佐、海老原係長、鈴木主査、大三川主査
- 6 傍聴者 1名
- 7 議事 (1) 令和2年度分行政評価について
- 8 会議録 要点筆記（議事について要点を筆記しています。）

【議事】

吉村会長： 議事（1）令和2年度分行政評価について、事務局より説明願います。

事務局： 資料に基づき説明

吉村会長： 事務局の説明が終わりました。本日の会議開催の通知文にも記載ありましたとおり、新型コロナウイルス感染症対策による会議時間短縮のため、質問事項を事前に提出していただくようお願いされておりましたが、当日配付資料として配付されている「質問等についての回答について」の説明を事務局よりお願いします。

事務局： 資料に基づき説明

吉村会長： 成果80%以上をB評価としており、A評価は110%以上ということですが10年間の総合計画のまとめとしてはA評価がもう少し多くてもよかったですのではないかと考えます。

事務局： 及第点をB評価として設定しておりますが、A評価が多いほうがより望ましいと考えますので、B評価であった施策については現計画において引き続きA評価を目指して取り組んでいきたいと思えます。

吉村会長： わかりました。では、事前質問以外でご質問ある方は挙手願います。

熊谷委員： 今回の評価は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しているとのことですが、資料4においてそれぞれC評価となっている施策1-②-1の成果指標である「市民1人1日あたりのごみの排出量」と「資源化率」の達成度及び施策2-③-1の成果指標「介護支援ボランティアの登録人数」と「高齢や就労支援センターの講習会受講者数」の達成度についても、同様の影響があったものと考えられますが、いかがでしょうか。

事務局： 委員ご指摘のとおり、それぞれの指標について達成できなかった要因として、令和2年度は外出自粛などによるもので新型コロナウイルスの影響と考えられますが、同表にある平成29年度の実績値や担当課とのヒアリングにおいて令和元年度の実績値を確認したところ、同様に目標値を下回っていたことから当該指標についてはC評価といたしました。

吉村会長： 資料1で保育園と学童クラブがそれぞれ待機児童の解消ができなかったとありますが、これについてはどういう状況でしょうか。

事務局： 市では毎年、民間保育園の開園に対する補助や学童クラブの整備により、待機児童の解消に努めておりますが、印西牧の原駅周辺の住宅開発や千葉ニュータウン中央駅周辺のマンション建設による児童の増加に追いつけていない状況でございます。

吉村会長： 住宅開発の状況はしばらく続きそうなのでしょうか。

事務局： 今年度からの総合計画においては、令和10年を人口のピークと推計しております。ただし、草深地区を中心とした調整区域の開発については推計が難しく、多少不透明な部分はあります。

吉村会長： 開発に関連して、市道の整備進捗率については用地買収など相手があることですから、難しい部分もあるのでしょうか。

事務局： 引き続き道路整備に向けた用地取得を市として取り組んでまいります。

篠田委員： 道路の用地買収については、たとえ県道であっても買収は市が行うことになっている。コスモス道路の整備は全く進んでいない。県道千葉竜ヶ崎線の渋滞緩和のためにもコスモス道路の早期完成が必要ではないでしょうか。

事務局： 現総合計画においても道路整備を進めていく旨記載しておりますので、道路環境の充実に向けて取り組んでまいります。

大竹委員： 待機児童について、3歳児未満は保育園を整備しても定員数を大幅に増やすことが難しいため、ピークの令和10年までは解消させることが難しいのではないかと思います。また、令和10年以降は、増えた保育園に対し年少人口の減少による定員割れの園が出ることが予想され、私立保育園などでは運営面で厳しい状況になると思われませんが、先を見据えた検討というのは今後行われるということでしょうか。

事務局： 全国的には少子高齢化や人口減少が進んでいますが、印西市は現在のところ子育て世代の転入が多く人口が増加していることから、子育て支援の施策については重要であると認識しております。また、現総合計画における人口推計でも、令和10年をピークに減少傾向に転じるとしていることから、担当課と調整を図りながら今後について進めてまいりたいと思います。

大竹委員： 通学区域について、本埜小学校から滝野小学校への通学変更は可能であるのに対して、滝野小学校から本埜小学校への通学変更はできないとの話を聞いたのですが、本当でしょうか。双方向での変更を可能にしたほうが、お互いに活性化が図れてよいのかなと思いますが、いかがでしょうか。

事務局： 手続き面について詳細を把握してはございませんが、教育委員会において学校適正規模・適正配置を含めた検討を行っておりますので、具体的には通学区域などを含めてそこでの議論となってくるものと考えます。

篠田委員： 資料1に記載されている市道が番号表示となっているため、具体的にどの道路であるのか教えていただきたい。

事務局： 記載順に市道00-031号線は平岡自然公園から小林小学校脇を通り小林浅間の交差点へ続く道路、市道00-116号線は県道千葉竜ヶ崎線の多々羅田付近から松崎を抜けて工業団地へ繋がる道路、市道00-026号線は牧の原地区から松崎工業団地を通り県道千葉竜ヶ崎線をそのまままっすぐ突き抜け戸神へ繋がる道路、市道00-107号線は県道千葉臼井印西線から印西中学校へ続く道路でございます。

柴崎委員： 道路整備に関しては、鹿黒の物流センターがたくさんできたことにより、大型トラックや勤務する人の車で交通量が非常に増えているため、総合計画の中でも特に力を入れていただきたい施策であると思います。

海老原委員： 評価の手法については、数量評価だけではなく満足度の評価も必要ではないかと考えます。例えばいんざい健康ちょきん運動は参加人数が増えています。対して要介護認定者も増えてきている状況があります。また、同運動をとおして筋力がついているのかどうかなどの評価をされているのか。そのような関連を示した評価の方が、効果がわかりやすいのではないかと思います。

事務局： 従来行政評価では、満足度の値を施策の成果目標としていないことから施策評価票では参考的に「5. 施策に対する市民の満足度・重要度調査結果」を記載しております。一方、今年度からの現総合計画では満足度・重要度の値を各施策の成果指標として設定しておりますので、今後の行政評価では満足度を考慮したうえでの施策に対する評価になるものと考えます。

海老原委員： 高齢者の現在の事業評価を見ると、何人参加したとか何作品出展したとかの数量評価となっており、今後は内容や満足度についての評価も、全部とはいかないまでもお願いしたいということ、意見ということで申し上げさせていただきます。

事務局： 貴重なご意見として今後の参考にさせていただきたいと思っております。

吉村会長： 資料1の廃止・終了事業となっている児童生徒用机・椅子の更新は、消耗品ですのでいずれまた更新が必要になると思いますが、事業としては何年ごとに見込んでいるのでしょうか。

事務局： 今回の更新については、教科書の大型化などに対応した新規格の机・椅子への更新であるため、消耗による更新は今のところ予定していないとのことでございます。

吉村会長： 了解しました。それでは他にご質問等ございませんか。
ないようですので、議事（1）について以上といたします。
本日の議事について全て終わりましたので、進行を事務局にお返しします。

事務局： それでは以上をもちまして、令和3年度第1回印西市総合計画審議会を終了いたします。長時間にわたりありがとうございました。

